



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社
 コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画担当 (氏名) 日高 幹夫 TEL 06-4391-1123
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,773	—	2,757	—	2,702	—	1,870	—
2020年3月期第1四半期	1,416	11.9	180	193.0	127	347.2	103	165.8

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 1,863百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 107百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	43.56	43.28
2020年3月期第1四半期	2.41	2.40

(注) 1. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

2. 当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、当第1四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月(2020年4月1日～2020年6月30日)、12月決算の連結子会社は6ヵ月(2020年1月1日～2020年6月30日)を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	27,205	20,669	75.9
2020年3月期	25,473	19,373	76.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 20,656百万円 2020年3月期 19,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	7.00	—	10.00	17.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年4月1日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	—	5,500	—	5,300	—	3,800	—	88.49

- （注）
- 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 - 当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社並びに3月決算であった連結子会社は9ヵ月間（2020年4月1日～2020年12月31日）、12月決算の連結子会社は従来通り12ヵ月間（2020年1月1日～2020年12月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。
 - 連結業績予想の修正については、本日（2020年8月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名） 台湾大幸薬品股份有限公司
除外 1社（社名） —

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	43,712,400株	2020年3月期	43,701,900株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	769,863株	2020年3月期	769,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	42,942,537株	2020年3月期 1 Q	42,851,437株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年6月26日開催の第74回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算日を3月31日から12月31日に変更致しました。このため、当連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、当第1四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同期比については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大により人々の生活や企業活動に多大な影響をもたらす状況が継続しております。

このような状況のなか、当社グループは世界のお客様の健康に貢献できるよう、全社一丸となって製品の安定供給に努めるとともに、クレベリンの新工場稼働に向けた準備に着手致しました。またタイムリーな感染症情報を掲載した「感染症ラボ」等のWEBコンテンツを中心に適切な情報提供にも取り組みました。

医薬品事業につきましては、消費者の外出自粛や小売店の営業時間短縮、臨時休業等の影響を受け、国内・海外共に低調に推移した一方で、感染管理事業につきましては、消費者の衛生意識の高まりを受け、当社製品に対する需要は高い水準で推移しました。

その結果、売上高は5,773百万円、営業利益は2,757百万円、経常利益は2,702百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,870百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、国内向けの売上高は、消費者の外出自粛による携帯用アイテムの不振やインバウンド需要の減少を受けた小売店の閉店の影響等により、主力の「正露丸」「セイロガン糖衣A」が低調に推移し835百万円となりました。海外向けの売上高につきましても、国内と同様に新型コロナウイルスの影響は大きく、現地での需要は減少し178百万円となりました。

その結果、売上高は1,013百万円、セグメント利益は425百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (注) 1 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (注) 2 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
国内	1,030	835
海外	208	178
合計	1,239	1,013

- (注) 1. 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2019年4月1日～2019年6月30日）、12月決算の連結子会社は3ヵ月（2019年1月1日～2019年3月31日）を連結対象期間としております。
2. 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間としております。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大はいまだ収束しておらず、消費者の衛生管理意識は前期から高い状態のまま続いております。このような状況から、国内一般用製品では、「クレベリン 置き型」を中心に「クレベリン スティック」や前期より販売を開始した「クレベ&アンド」シリーズが、期首から好調に推移しており、売上高は3,839百万円となりました。

国内業務用製品の売上高につきましても、国内一般用製品と同様の傾向にあり、「クレベリンカートリッジ（車両用）」やオフィス向けの需要が高い水準で推移し630百万円となりました。

海外向けにつきましては、新規チャネルの開拓を積極的に行ってまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による消費者の衛生管理意識の高まりを機に、中国市場向けや台湾市場向けの需要が拡大し、売上高は287百万円となりました。

その結果、売上高は4,757百万円、セグメント利益は2,670百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（感染管理事業）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間（注）1 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間（注）2 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
国内：一般用	23	3,839
国内：業務用	139	630
海外	11	287
合計	174	4,757

（注）1. 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2019年4月1日～2019年6月30日）、12月決算の連結子会社は3ヵ月（2019年1月1日～2019年3月31日）を連結対象期間としております。

2. 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間としております。

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は2百万円となり、セグメント損益は7百万円の損失となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は27,205百万円（前連結会計年度末比1,731百万円増）となりました。また、負債合計は6,536百万円（同436百万円増）、純資産合計は20,669百万円（同1,295百万円増）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、売上高の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加や需要増加に備えたたな卸資産の増加等による流動資産1,206百万円の増加、生産能力増強を目的とした有形固定資産の増加等による固定資産525百万円の増加、増産に伴う原材料資材等調達に起因した支払手形及び買掛金の増加等による流動負債426百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加による純資産1,295百万円の増加であります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から0.1ポイント減少の75.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月12日公表の予想を修正致しました。詳細は、本日別途公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,906,154	8,981,261
受取手形及び売掛金	4,419,293	5,452,581
商品及び製品	1,346,242	1,869,217
仕掛品	355,933	448,465
原材料及び貯蔵品	322,936	465,570
その他	265,446	617,600
貸倒引当金	△32,000	△44,500
流動資産合計	16,584,007	17,790,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,848,265	2,801,273
機械装置及び運搬具(純額)	353,411	460,396
土地	1,820,047	1,820,047
建設仮勘定	1,798,259	2,350,339
その他(純額)	288,409	318,958
有形固定資産合計	7,108,392	7,751,015
無形固定資産	220,416	259,760
投資その他の資産		
投資有価証券	735,258	733,925
その他	825,678	670,608
投資その他の資産合計	1,560,936	1,404,534
固定資産合計	8,889,745	9,415,310
資産合計	25,473,752	27,205,507
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,005,831	1,889,531
未払金	1,142,800	1,735,522
未払法人税等	937,354	678,234
返品調整引当金	221,000	319,000
賞与引当金	601,660	101,814
役員賞与引当金	139,070	11,140
その他	746,769	485,940
流動負債合計	4,794,486	5,221,183
固定負債		
長期末払金	549,500	549,500
退職給付に係る負債	703,559	716,251
その他	52,247	49,158
固定負債合計	1,305,306	1,314,909
負債合計	6,099,793	6,536,093
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,032,471	1,035,425
資本剰余金	1,238,859	1,241,813
利益剰余金	17,533,104	18,831,054
自己株式	△539,854	△539,854
株主資本合計	19,264,581	20,568,439
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	95,032	88,032
その他の包括利益累計額合計	95,032	88,032
新株予約権	14,345	12,942
純資産合計	19,373,959	20,669,414
負債純資産合計	25,473,752	27,205,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,416,618	5,773,908
売上原価	391,069	1,636,503
売上総利益	1,025,549	4,137,405
返品調整引当金戻入額	191,000	221,000
返品調整引当金繰入額	192,000	319,000
差引売上総利益	1,024,549	4,039,405
販売費及び一般管理費	843,696	1,281,913
営業利益	180,853	2,757,491
営業外収益		
受取利息	1,093	3,654
受取賃貸料	576	1,432
その他	700	1,176
営業外収益合計	2,370	6,263
営業外費用		
支払利息	128	76
為替差損	10,183	3,847
賃貸費用	465	514
未稼働設備関連費用	44,569	56,516
その他	524	159
営業外費用合計	55,872	61,114
経常利益	127,351	2,702,639
税金等調整前四半期純利益	127,351	2,702,639
法人税、住民税及び事業税	3,200	626,038
法人税等調整額	21,066	206,223
法人税等合計	24,266	832,262
四半期純利益	103,084	1,870,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	103,084	1,870,377

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	103,084	1,870,377
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	4,751	△7,000
その他の包括利益合計	4,751	△7,000
四半期包括利益	107,836	1,863,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,836	1,863,377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、台湾大幸薬品股份有限公司及び大幸薬品(深圳)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、台湾大幸薬品股份有限公司は、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,239,183	174,459	2,975	1,416,618	—	1,416,618
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,239,183	174,459	2,975	1,416,618	—	1,416,618
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	496,118	△92,945	△6,679	396,493	△215,639	180,853

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,013,782	4,757,246	2,879	5,773,908	—	5,773,908
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,013,782	4,757,246	2,879	5,773,908	—	5,773,908
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	425,609	2,670,931	△7,838	3,088,702	△331,211	2,757,491

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。